



令和6年度 高雄日本人学校

愛河



校訓 「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子

学校だより 9月号

令和6年8月27日

文責 校長 堀山 知基

1学期後半がスタートしました

1学期後半がスタートして、1週間が過ぎました。もうすっかり夏休み気分は抜けて、子供たちは学校での生活リズムを整え、学校生活を送っています。少し前になりますが、夏休み明け集会での学校長の話を紹介します。

31日間の夏休みが終わり、今日から1学期後半がスタートします。まずは、夏休み前に約束した三つの内容「家族との時間を大切にする」、「生活や学習のリズムを大切にする」、「自分の健康や命を大切にする」がしっかりと守れたか振り返ってほしいと思います。1学期後半は期末テストや実力テスト、児童生徒会役員選挙、合同避難訓練、様々な校外学習と多くの活動が控えています。日頃の授業に加えて、それぞれの学習活動とおして、皆さんには大きく成長してほしいと思います。1学期後半も実りある楽しい生活になるように頑張ってください。

夏休み明けの最初の1時間目の集会でしたが、子供たちがよい姿勢でしっかりと話を聞いていたことを嬉しく思いました。そして、小学部1・2・4年生と中学部2年生の代表の子供たちからは、夏休みに頑張ったことやこれからの目標について発表がありました。

◇「夏休みは、ひらがなの練習をがんばりました。足し算と引き算をもっと頑張りたいです。」

◇「夏休みは、1分以内で計算が解けるように計算練習を頑張りました。こつこつやって良かったです。続けられるようにこれからも頑張ります。」

◇「私の将来の目標は医者になることです。なぜなら、多くの人の命を助けたいからです。そのために学校での勉強をたくさん頑張りと、ピアノの練習もがんばっていきたいです。」

◇「時と場にふさわしい言動を心掛けていきたいです。来年は受験生になるので、毎日の学習をこつこつと頑張りと、努力を積み重ねて行きたい高校に行けるように努力したいです。」



夏休みの努力やこれからの目標を堂々と述べる発表者の皆さんの姿が大変立派でした。発表を聞いた全校児童生徒の皆さんにとっても、よい刺激になりました。来週からは9月に入ります。それぞれの夢や目標に向かって努力する9月にしていきたいと思います。引き続き、本校の教育活動への保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。



和太鼓演奏を披露しました！8月24日（土）

先週24日（土）・25日（日）に、高雄市政府と日本台湾交流協会が主催する「2024台日フルーツ祭」が開催されました。24日（土）のステージには、本校中学部の生徒が和太鼓演奏で出演しました。会場となった高雄流行音楽センター海風広場には、非常に多くの人出があり、出演前の生徒たちは少し緊張した面持ちでした。しかしながら、一旦演奏が始まると、いつもどおりの力強い太鼓の音を響かせ、日頃から練習に取り組んでいる3曲を堂々と披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。大きな舞台上で初めての演奏となった1年生も立派に自分の役割を努めました。このような貴重な演奏の機会をいただいたことに感謝するとともに、これからも日台友好の懸け橋となるような高雄日本人学校の活動を推進してまいります。会場にて大きなご声援をいただきました保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

